

## 第2回 多摩市街路樹よくなるプラン改定委員会 検討資料



平成29年10月20日（金）  
多摩市都市整備部道路交通課

## 議事(2) 目標・方針・課題について

- ① 目標と現状の課題への対応方針
- ② 現地基礎調査等街路樹の現況報告とタイプ区分

## 議事(3) 検討委員会の進め方・スケジュール

- ③ 委員会の進め方・スケジュールについて

# 1. 目標と現状の課題への対応方針

## 課題の仕分けと対応方針

### 3つの観点

- ①安全・安心
- ②生育や景観
- ③維持管理上

道路管理者としての視点

### 仕分けの背景

- ・ 現地基礎調査（街路、ペデの全路線で実施）（後述）
- ・ 第1回委員会での意見・指摘事項への対応（資料-1）
  - ・ 景観考慮に係る管理について
  - ・ 課題のカテゴリー化

## 1. 目標と現状の課題への対応方針

### 課題の仕分けと対応方針

#### ①安全、②生育や景観、③維持管理上の観点で対応

##### 1) 安全・安心確保の観点

目標：道路を安全・安心に通行できる

方針：安全な通行を妨げる状況は優先して対処し改善する

##### 2) 健全な樹木育成や良好な景観形成の観点

目標：景観や緑陰等街路樹の持つさまざまな機能が発揮される

方針：良好な生育に向けた生育条件の改善を図る

##### 3) 持続可能で効率的な維持管理の観点

目標：予算内で、管理が行き届いている

方針：効率的に管理するため、立地条件に応じ植栽構成の見直しや  
、管理内容・頻度の「選択と集中」を図る

# 1. 目標と現状の課題への対応方針

## 課題の仕分けと対応方針

表 3つの観点での課題（街路部の場合）

観点	課題
「安全確保」	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 建築限界を侵した支障枝・ 枯枝の発生</li><li>・ 根上りによる舗装の盛り上がり等による歩行者等の通行阻害</li><li>・ 交差点部、信号・ 標識を隠す幹や枝による視距阻害</li><li>・ 中低木繁茂による子供等飛び出しの視認性阻害</li><li>・ 枯れ木、衰弱木の発生</li><li>・ 管理困難な樹高の高い樹木の発生</li></ul>
「生育改善」 （景観形成）	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 役目を終えた支柱の未撤去</li><li>・ 成長に伴う植樹柵の形状に見合わない大径木化</li><li>・ 成長による過密化、枯れ木撤去等による並木景観悪化</li><li>・ 架線、隣接植栽との競合による樹形悪化</li></ul>
「効率的管理」 （持続可能）	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 並木全体の生育不良</li><li>・ 隣同士の枝の接触等並木の過密化</li><li>・ 緑地や樹林地隣接による枝葉の競合・ 樹勢劣化</li><li>・ 管理が困難となる高樹高木、大径木の大量増加</li><li>・ 樹木規格成長による並木区間全体の枝葉の民地越境量増加</li><li>・ 限られた植栽管理コスト・ 樹木成長に伴うコスト増</li></ul>

# 1. 目標と現状の課題への対応方針

## 課題の仕分けと対応方針

表 3つの観点での課題（ペデ部の場合）

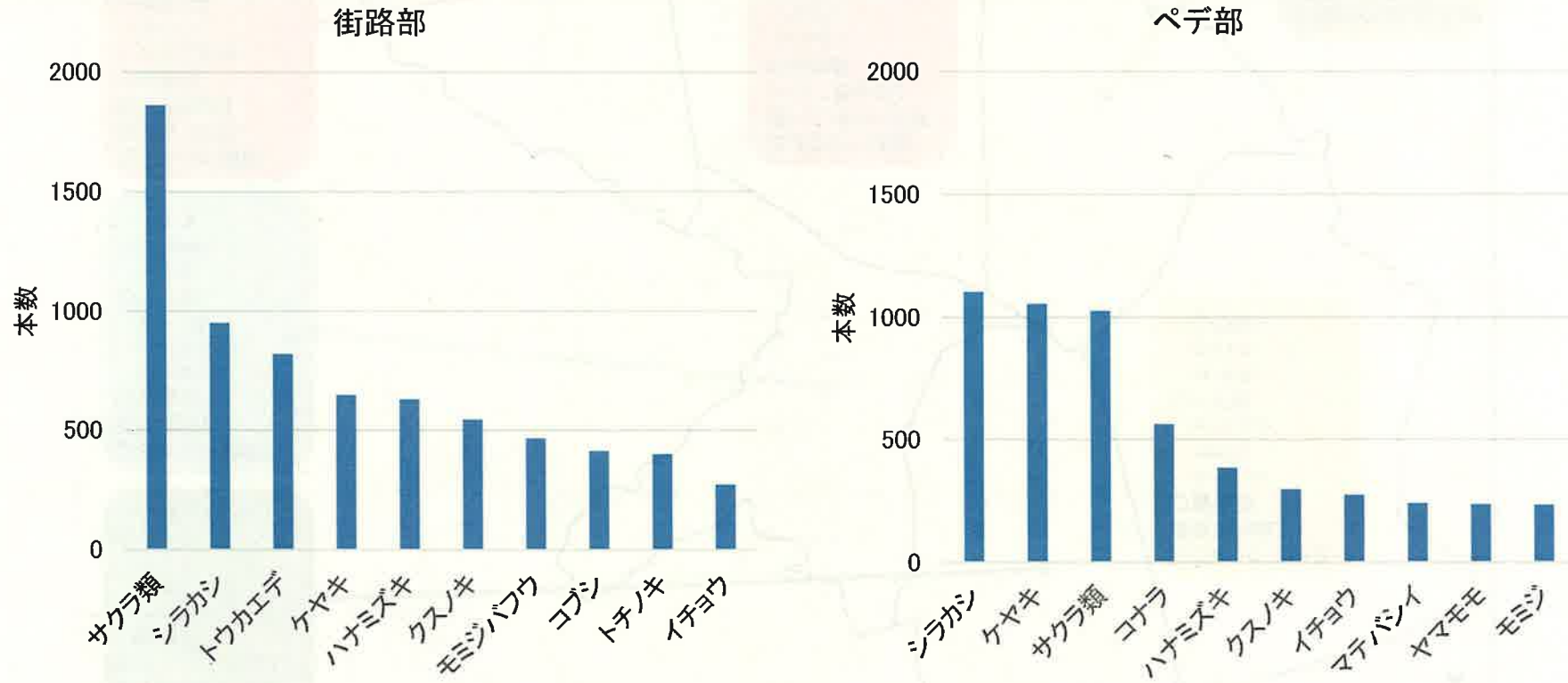
観点	課題
「安全確保」	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 建築限界を侵している支障枝や枯れ枝の発生</li><li>・ 植栽木の過密化による暗化に伴う通学路等防犯上の不安</li><li>・ 交差部を隠す幹や枝による視距阻害</li><li>・ 枯れ木、衰弱木の発生</li><li>・ 高樹高化による管理困難</li></ul>
「生育改善」 (景観形成)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 役目を終えた支柱の撤去、踏圧防止板の撤去</li><li>・ 成長に伴う植樹柵の形状に見合わない大径木化</li><li>・ 成長による過密化、枯れ木撤去等による並木景観悪化</li><li>・ 公共施設付近やペデ交差部等の植栽整理（地域連携）</li><li>・ 過剰な繁茂によるペデ部の暗化</li></ul>
「効率的管理」 (持続可能)	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 官地・民地二重遮蔽植栽成長による視距阻害、防犯上の不安の増加</li><li>・ 緑地や樹林地隣接による枝葉の競合・樹勢劣化</li><li>・ 無植栽空間(植樹柵があって無植栽)の確認</li><li>・ 限られた植栽管理コスト・樹木成長に伴うコスト増</li></ul>

## 2. 現地基礎調査等街路樹の現況報告とタイプ区分

### (1) 街路樹の概況

#### 【多摩市の街路樹本数の概要】

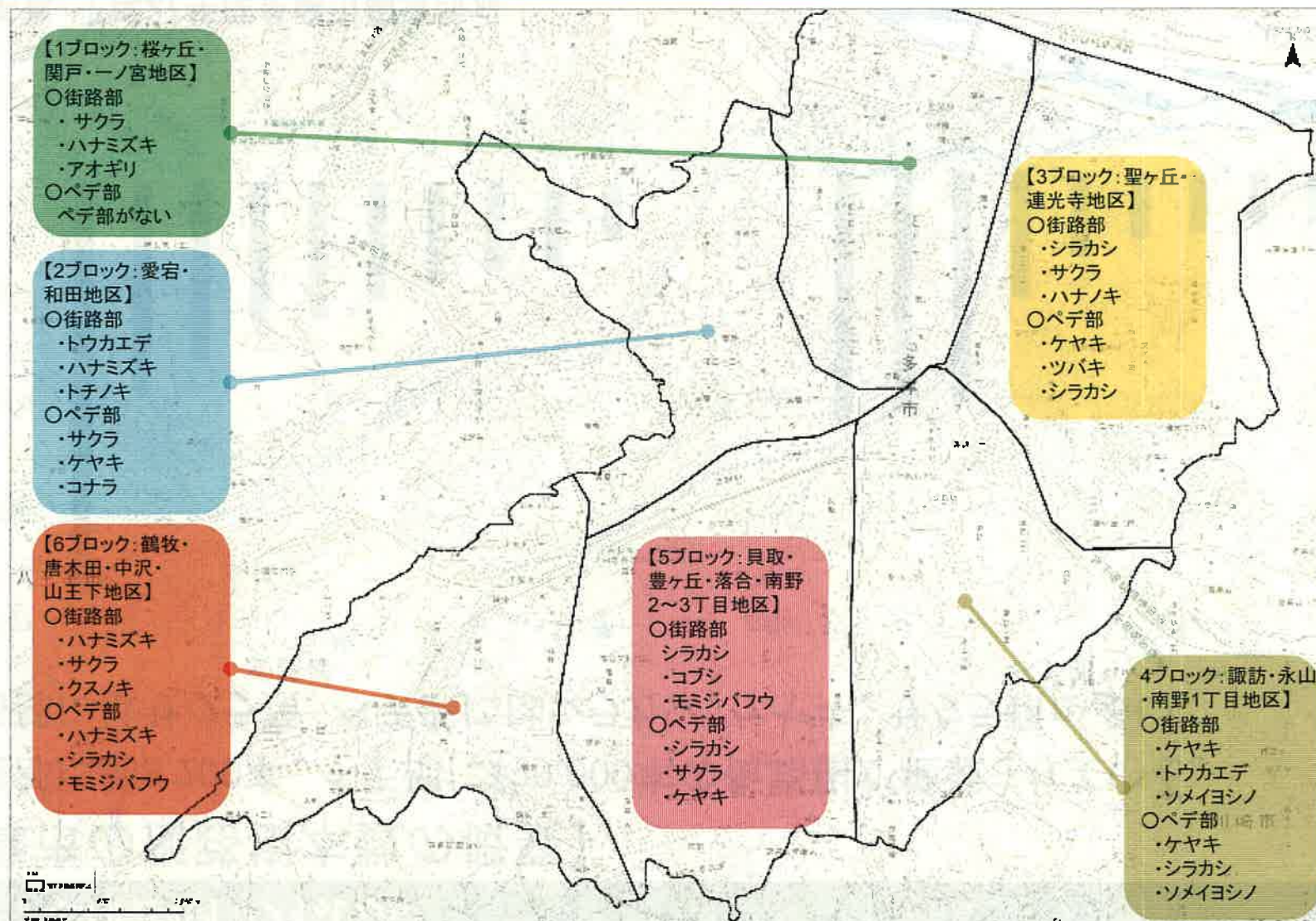
- ・街路部に約8,200本、ペデ部に約9,000本の街路樹が植栽されている。
- ・街路部にはサクラ類、ペデ部にはシラカシ、ケヤキ、サクラ類が多い。



※本数：平成27年度多摩市調査時点

図 街路、ペデでの本数と代表樹種

## 2. 現地基礎調査等街路樹の現況報告とタイプ区分



(多摩市道路交通課、平成27年度調査時点)

図 地区別の本数と代表樹種



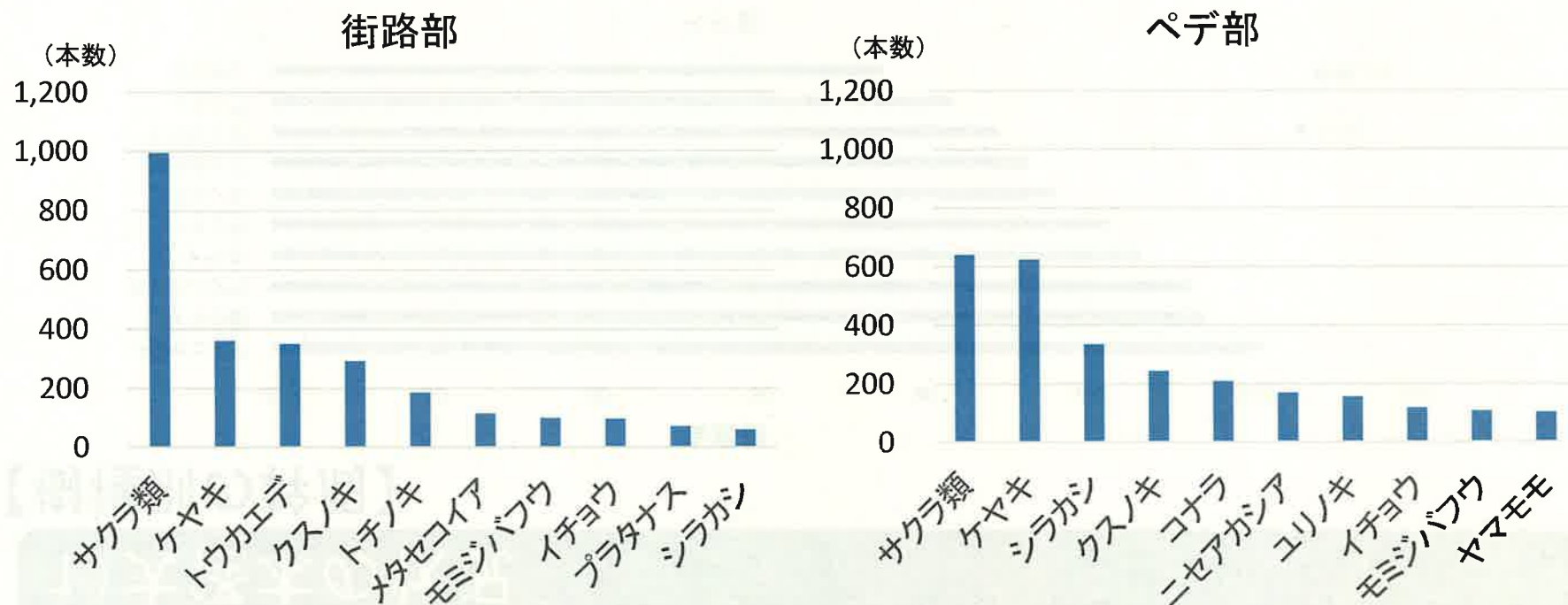
## 2. 現地基礎調査等街路樹の現況報告とタイプ区分

### 1) 大径木※の状況

#### 【大径木の本数】

・90cm以上に成長した大径木の多い樹種は、街路部においてサクラ類、ペデ部においてサクラ類、ケヤキが多い傾向が見られる。

※「大径木再生指針」(東京都)が定める大径木の定義(幹周90cm以上)を本委員会での資料にも当てはめる。



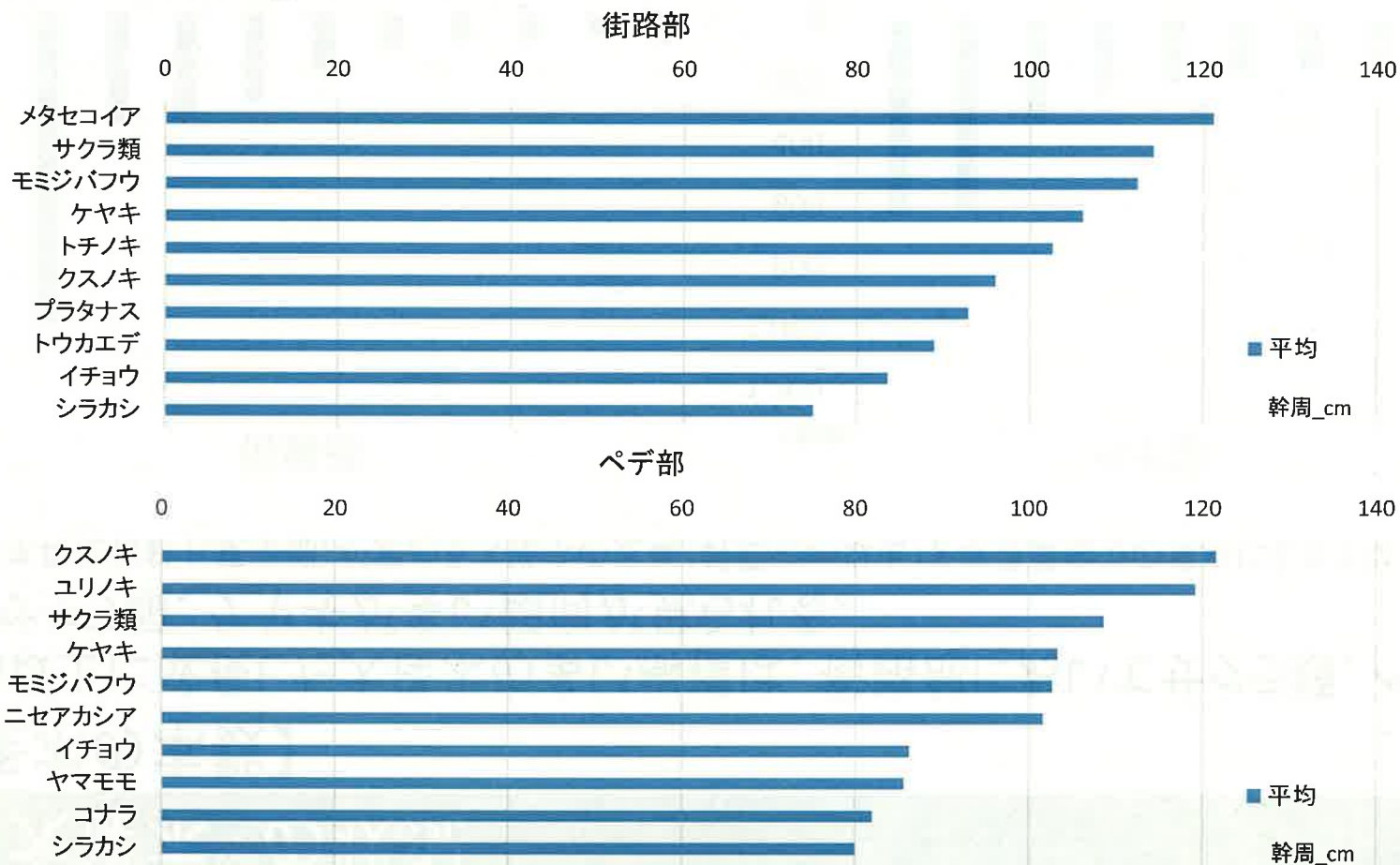
※本数：平成27年度多摩市調査時点、樹種は各路線の代表樹種

図 幹周90cmの大径木の本数(上位10種)

## 2. 現地基礎調査等街路樹の現況報告とタイプ区分

### 1) 大径木の状況

#### 【樹種別の幹周】



※本数：平成27年度多摩市調査時点、樹種は各路線の代表樹種

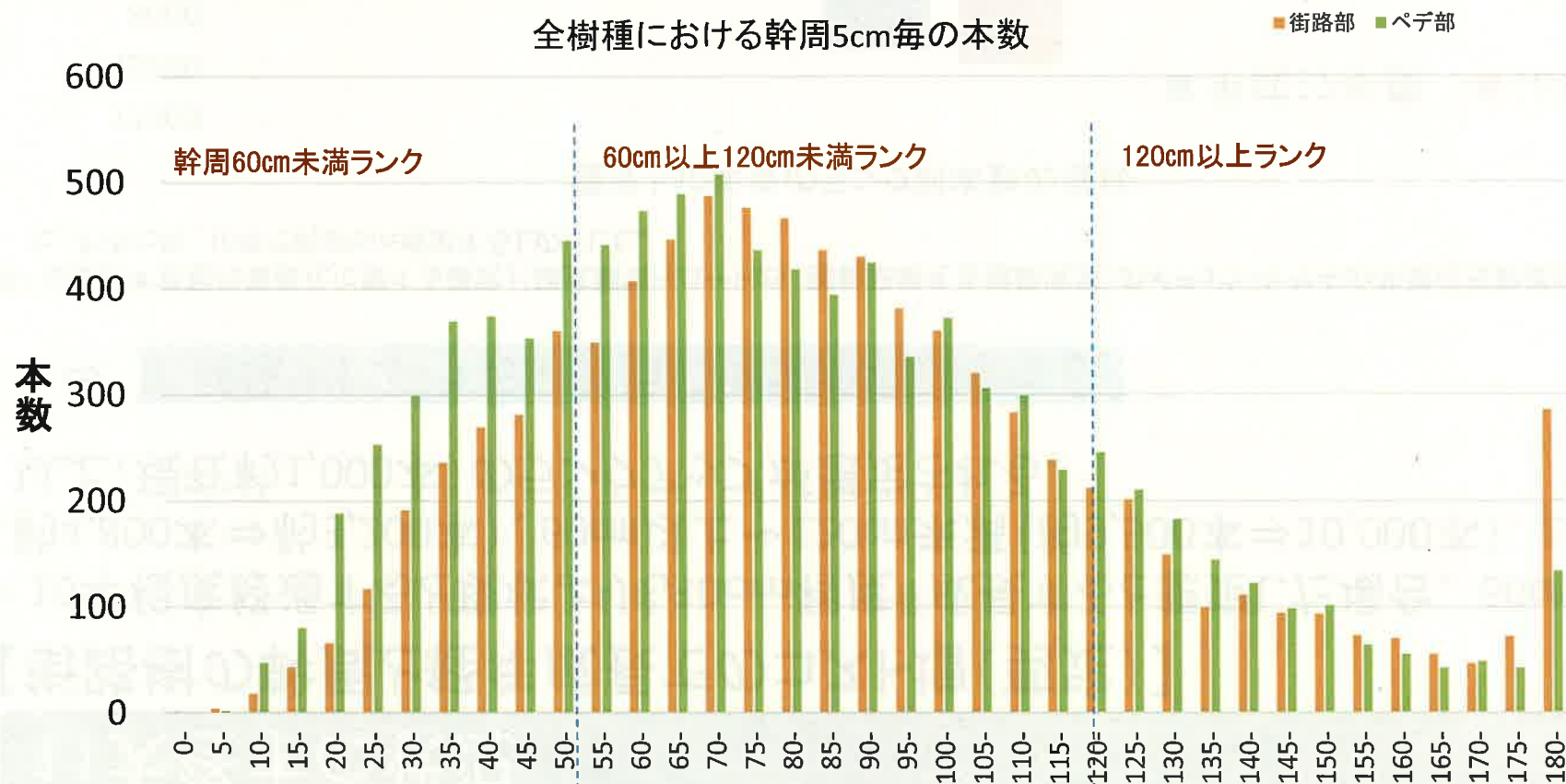
図 上位10種の平均幹周

## 2. 現地基礎調査等街路樹の現況報告とタイプ区分

### 1) 大径木の状況

#### 【街路樹の幹周と経年成長でのコスト増(剪定)】

・街路樹の剪定費用は、およそ60cm毎に単価が上昇する。



※本数：平成27年度多摩市調査時点

図 幹周別の街路樹の現況

## 2. 現地基礎調査等街路樹の現況報告とタイプ区分

### 1) 大径木の状況

#### 【街路樹の幹周と経年成長でのコスト増(剪定)】

- ・ 10年程度経過すると現状よりも30cm程度※成長すると想定した場合、60cm未満(約4,800本⇒約3,200本)、60cm以上～120cm未満(約9,500本⇒10,000本)、120cm以上(現在約1,000本)のランクアップが想定される。

⇒ 幹周増大に伴う剪定費用の増加が推測される。

※「公園樹木管理の高度化に関する研究」(研究期間H21～H25 国総研緑化生態研究室)のイチヨウ・ケヤキの年間成長幹周を約3cmとした。そのため、10年で約30cm増加するものとした。

現況と10年後のランク別本数の推移

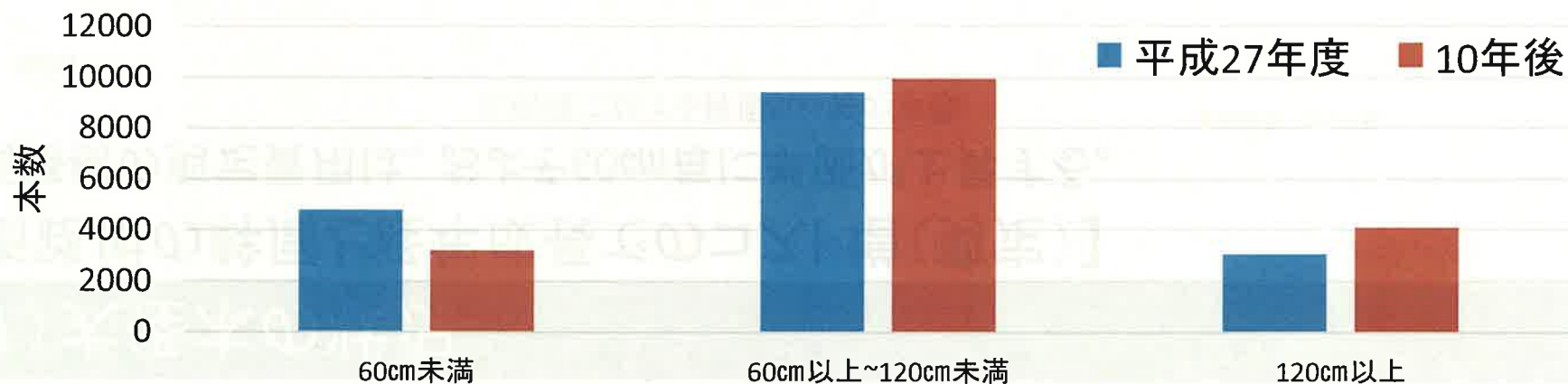


図 ランク別本数の推移 (既存研究から推定)

## 2. 現地基礎調査等街路樹の現況報告とタイプ区分

### 2) 枯れ木等の状況

#### 【枯死に伴う年間伐採本数の推移】

- ・枯れに伴う年間伐採本数は、過去4年度で年間約120～310本程度で推移

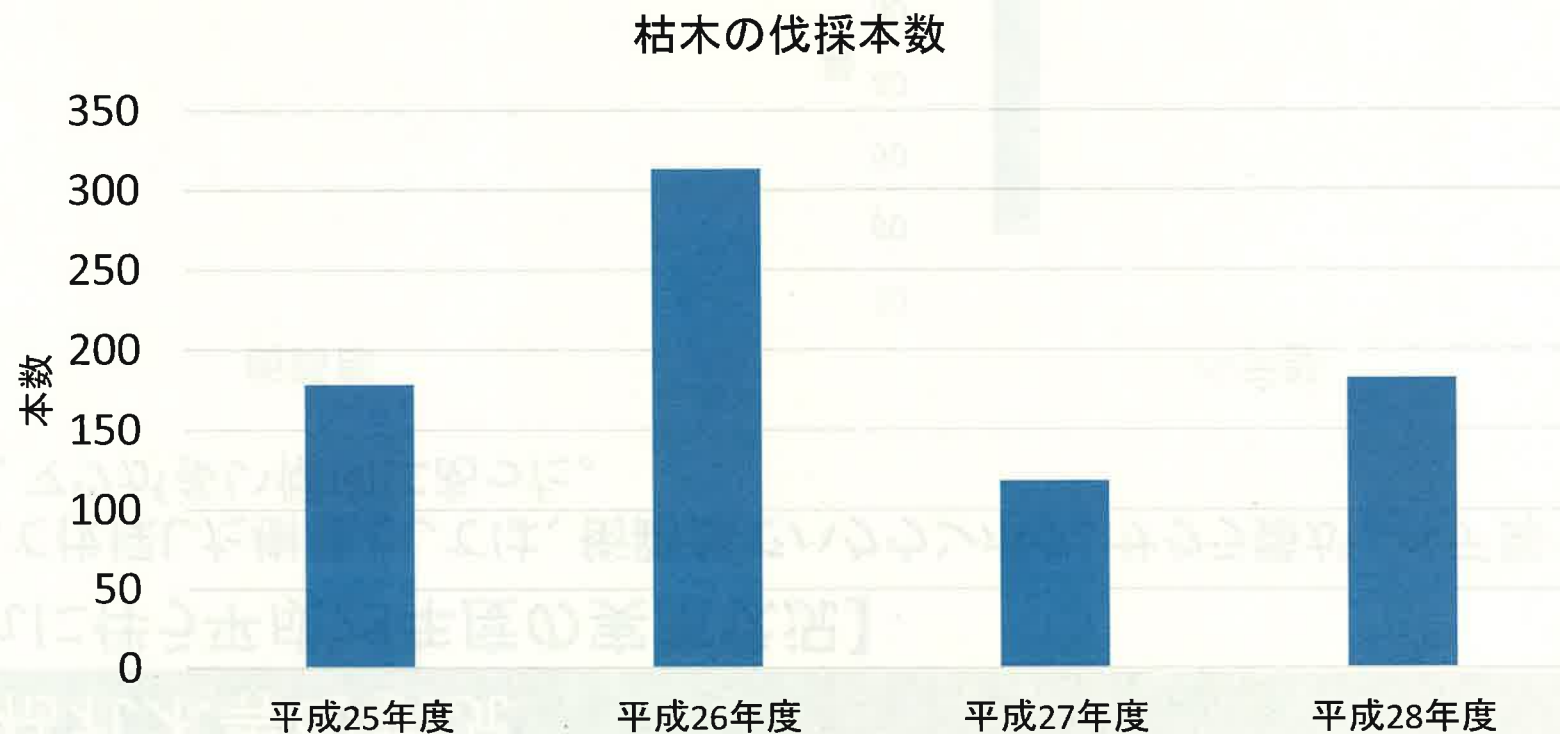


図 枯れ木本数の推移

## 2. 現地基礎調査等街路樹の現況報告とタイプ区分

### 2) 枯れ木等の状況

#### 【枯れに伴う平成28年度の実施状況】

- ・枯れて伐採した樹種としては、街路部でハクウンボク、サクラ類が、ペデ部でサクラ類、マツが多い傾向にあった。

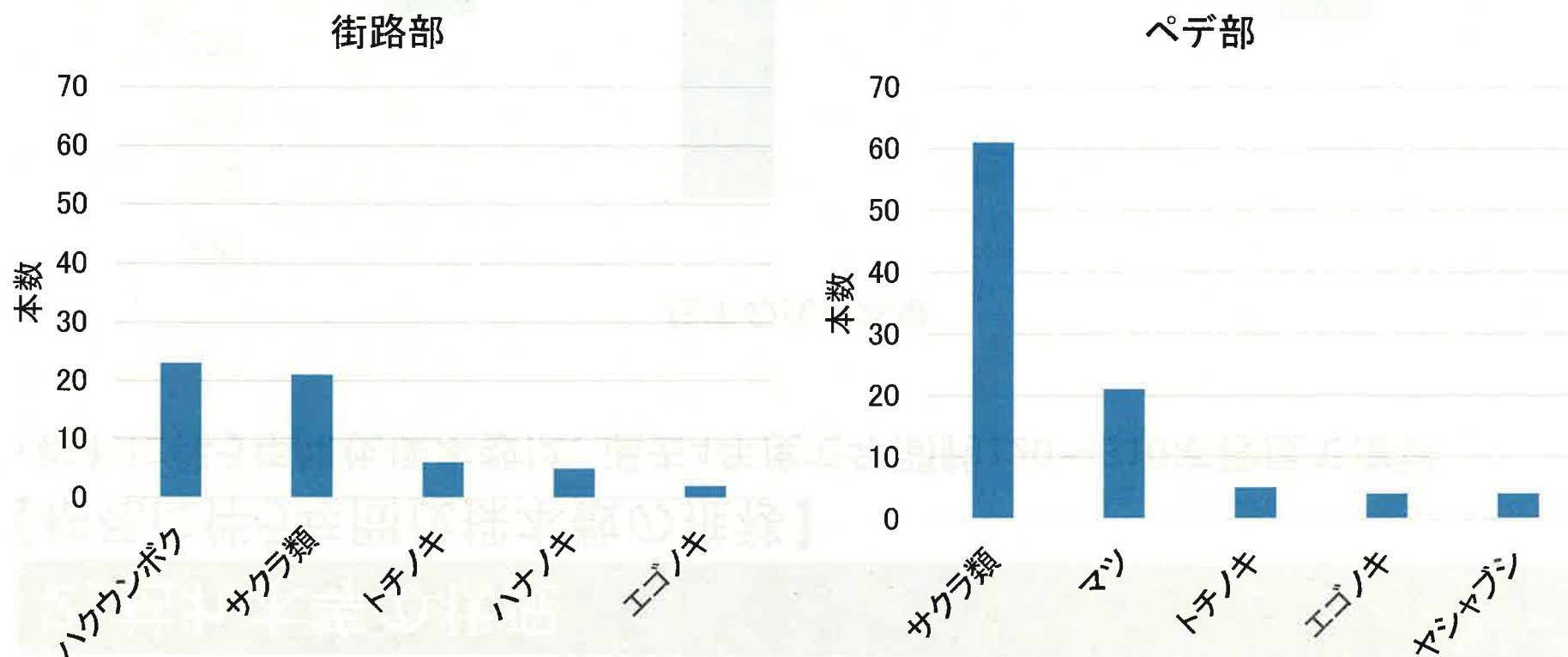


図 枯木の多い樹種(平成28年度)

## 2. 現地基礎調査等街路樹の現況報告

### 3) 街路樹に関するこれまでの対応

#### 【現行よくなるプラン等による街路樹支障箇所の解消】

- ・信号や街路灯の支障となる街路樹の伐採による支障解消箇所数は、年間100箇所以上実施している。

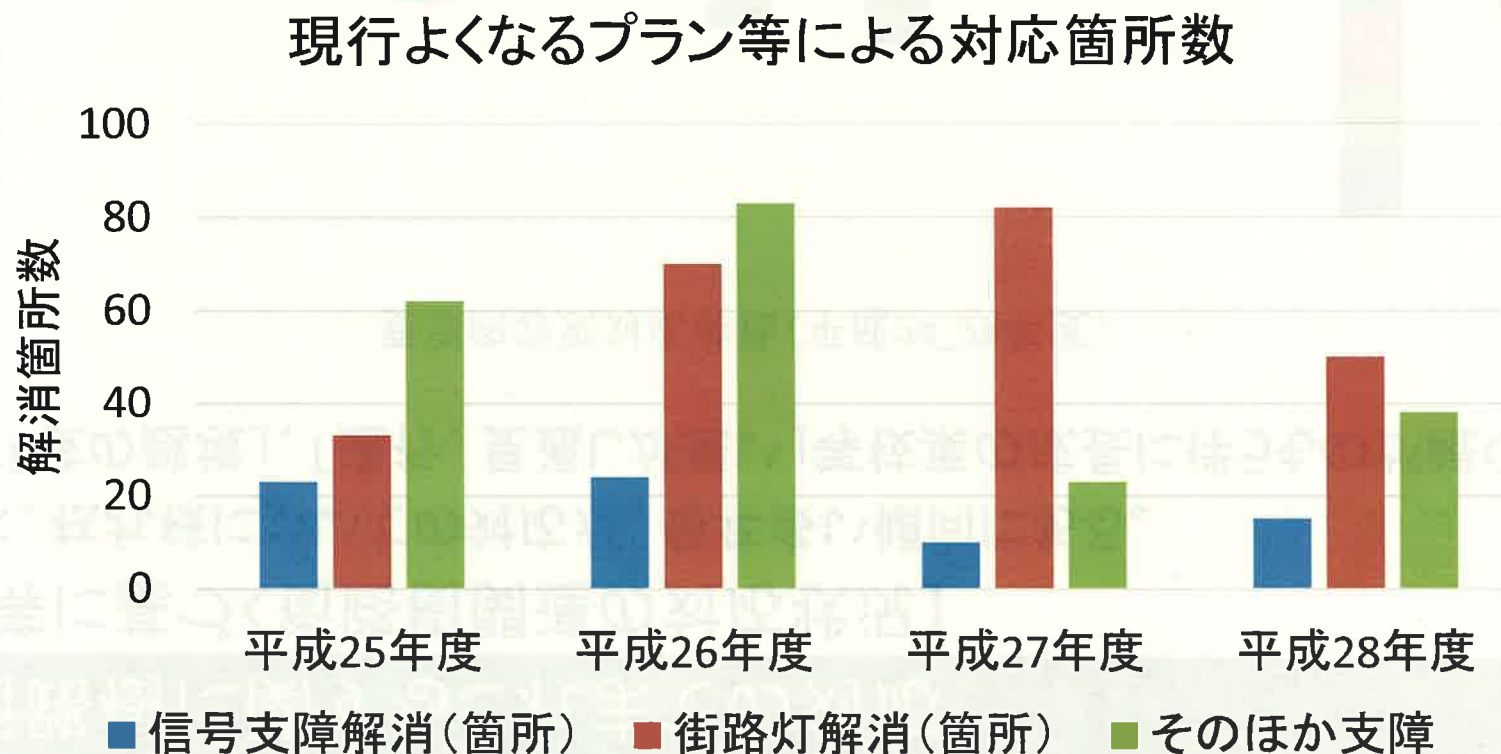


図 解消箇所数の遷移

## 2. 現地基礎調査等街路樹の現況報告とタイプ区分

### 3) 街路樹に関するこれまでの対応

#### 【要望等に基づく街路樹関連の対応状況】

- ・枯れ木、枯れ枝についての対応が、毎年多い傾向にある。
- ・続いて「枝の越境」、「通行、見通しが悪い」等枝葉の成長に伴うものが続く。

要望内容別対応件数(平成24~28年度)

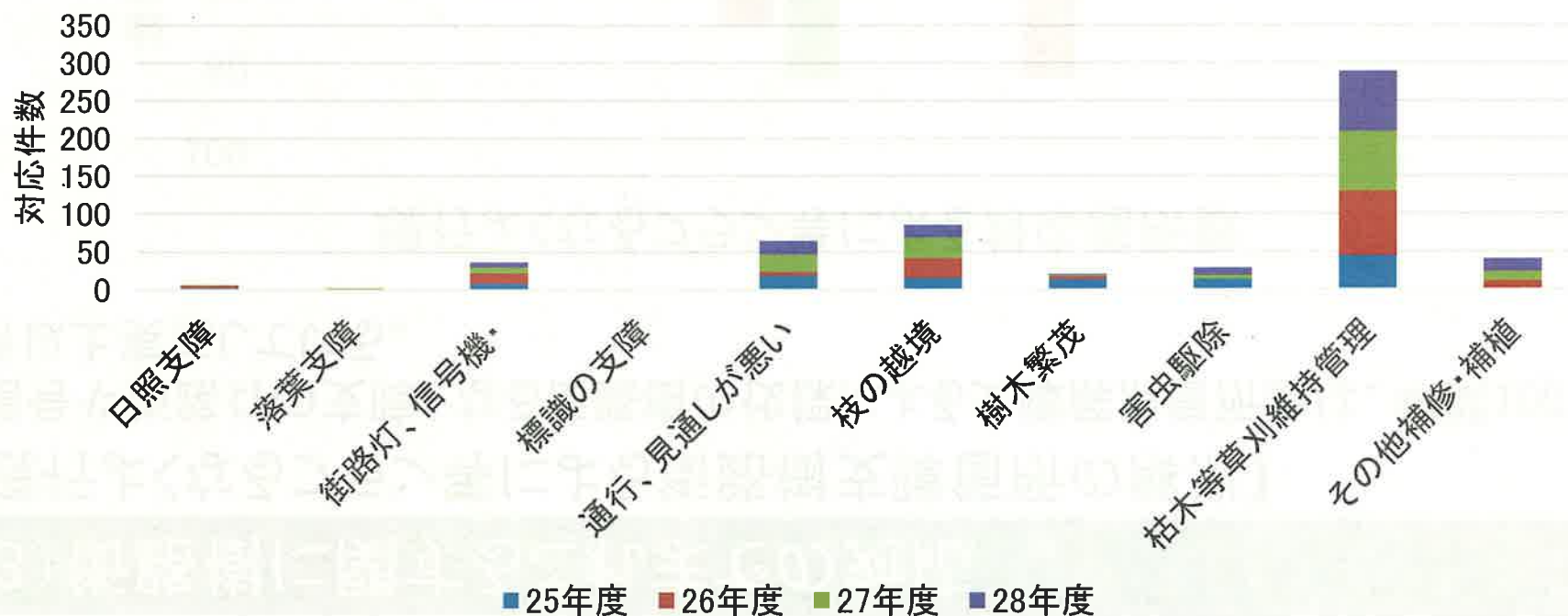


図 要望等への対応件数の遷移



## 2. 現地基礎調査等街路樹の現況報告とタイプ区分

### 4) 改善を検討すべき状況(街路部)



道路標識の視認阻害



衰弱木



取り残された支柱



隣接公園の植栽に  
被圧される街路樹



生育空間に限られる  
大径木



巨木化により  
剪定作業が困難

(現地基礎調査結果、平成29年8月)

## 2. 現地基礎調査等街路樹の現況報告とタイプ区分

### 4) 改善を検討すべき状況(街路部)



樹冠への街灯埋没



低木繁茂による  
視認性低下



並木全体の  
生育不良



根上りによる車いす  
等の走行性悪化



管理コストの高い大  
径木等の大量増加



架線との競合による  
樹形の悪化

(現地基礎調査結果、平成29年8月)

## 2. 現地基礎調査等街路樹の現況報告とタイプ区分

### 4) 改善を検討すべき状況(ペデ部)



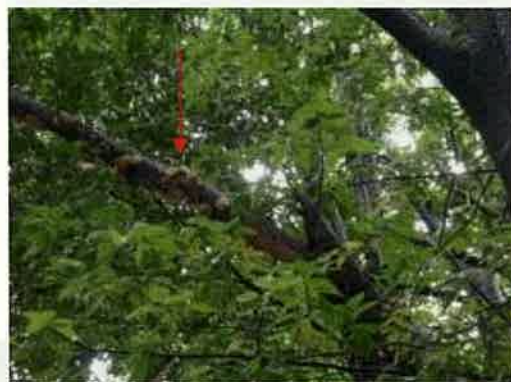
校門付近の繁茂による  
通学等安全性低下



樹木競合による劣  
勢・枯木の発生



民地側と二重に  
なった遮蔽植栽



大枝の腐朽による  
落枝の危険



公園と一体となり繁  
茂したペデ部



根上り縁石による  
歩行性低下

(現地基礎調査結果、平成29年8月)

## 2. 現地基礎調査等街路樹の現況報告とタイプ区分

### 4) 改善を検討すべき状況(ペデ部)



民地への枝葉の越境  
・家屋との接触



植樹樹の規格に  
合わない大径木



高樹高化による  
管理の作業性悪化



空地のままの空き樹  
に雑草の繁茂

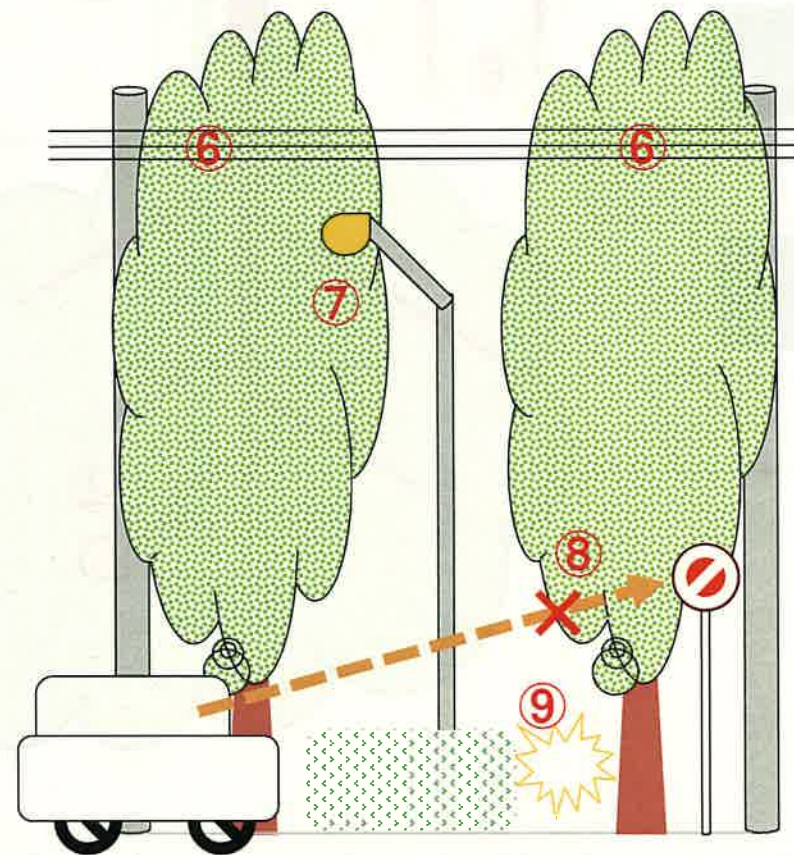
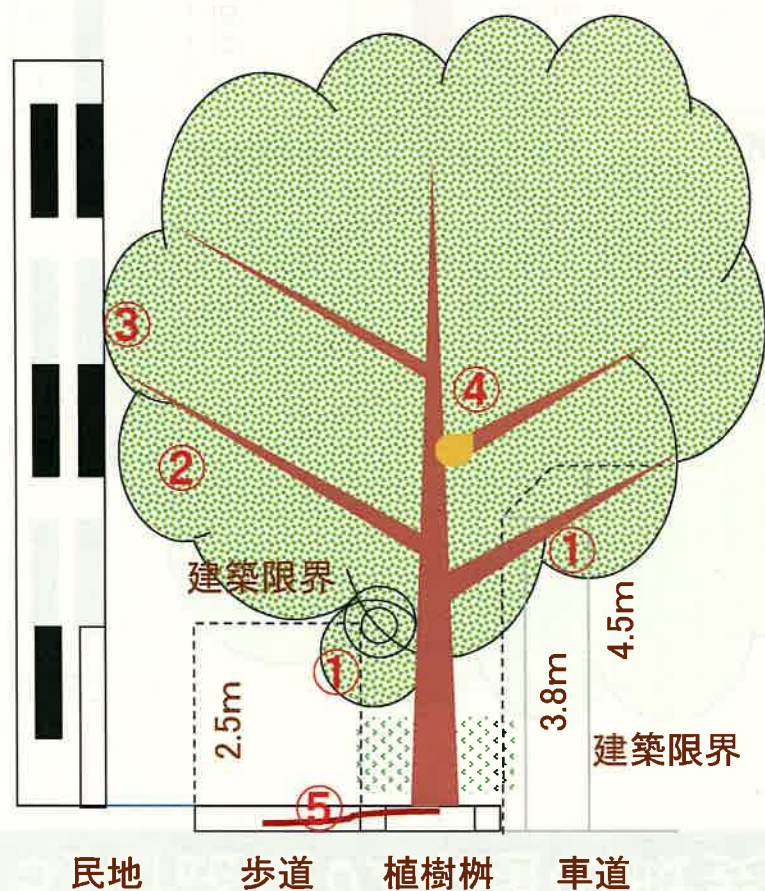


取り残された支柱

(現地基礎調査結果、平成29年8月)

## 2. 現地基礎調査等街路樹の現況報告とタイプ区分

### 5) 街路樹の課題の概要図(街路部)



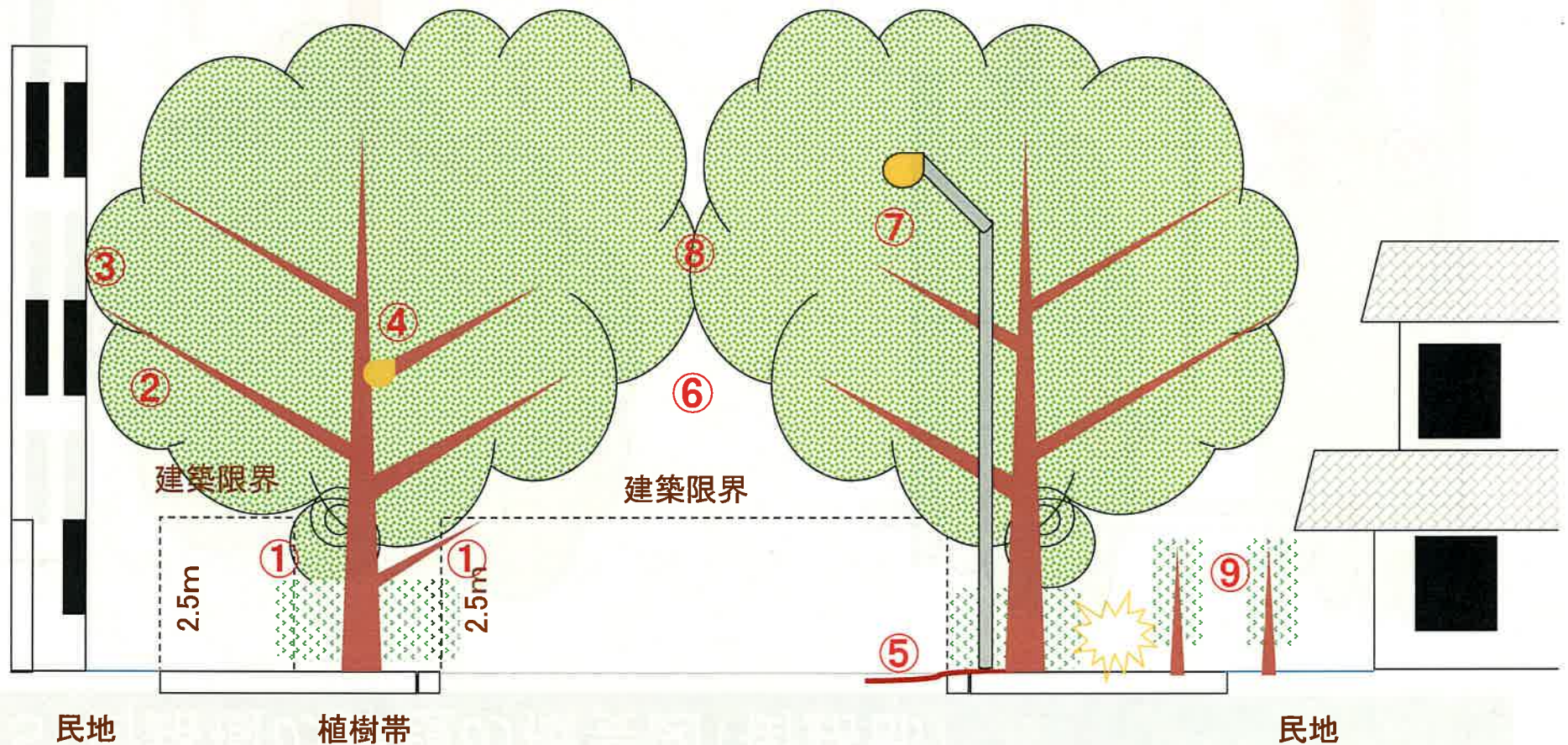
- ① 枝葉の建築限界越境
- ② 枝葉の民地への越境
- ③ 枝葉の建物への接触

- ④ 大枝の腐朽による落枝の危険
- ⑤ 根の成長による歩道舗装の破損
- ⑥ 枝葉接触による強風時の架線破損

- ⑦ 枝葉繁茂による街灯光阻害
- ⑧ 枝葉による交通標識等の視認阻害
- ⑨ 中低木繁茂による飛び出し等視認阻害

## 2. 現地基礎調査等街路樹の現況報告とタイプ区分

### 5) 街路樹の課題の概要図(ペデ部)



- ① 枝葉の建築限界越境
- ② 枝葉の民地への越境
- ③ 枝葉の建物への接触

- ④ 大枝の腐朽による落枝の危険
- ⑤ 根の成長による歩道舗装の破損
- ⑥ 樹木繁茂によるペデ部の暗化

- ⑦ 枝葉繁茂による街灯光障害
- ⑧ 樹木の過剰繁茂による劣勢・枯木発生
- ⑨ 遮蔽植栽の二重による過密、過剰化

## 2. 現地基礎調査等街路樹の現況報告とタイプ区分

### (2) 街路部の状況とタイプ区分

#### 【タイプ区分の考え方】




街路部において、樹木の形状や生育、被害・障害の対象に影響を与える道路空間の形状や道路利用者等の状況によって、タイプ区分を設定した。

現地基礎調査結果から、区分に大きく影響した事項は以下の通り。

- ・道路空間の広さ(大:幹線、小:その他一般)
  - ・植栽箇所と住居・オフィス等との隣接の有無
  - ・歩道・植樹柵幅員等植栽の生育環境
- 等

## 2. 現地基礎調査等街路樹の現況報告とタイプ区分

### 表 区分結果(街路部)その1

タイプ区分	概要	事例写真	
幹線	①-1: 住居・オフィス隣接区間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩道: 広い</li> <li>・隣接: 住居・オフィス等</li> <li>・根元: 植樹帯・柵に余裕あり</li> <li>・高木: 低~中</li> </ul>	
	①-2: 長大法面隣接区間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩道: 広い</li> <li>・隣接: 長大法面(一部樹林有)</li> <li>・根元: 植樹帯・柵に余裕なし</li> <li>・高木: 高い</li> </ul>	
一般	②-1: 団地(高層)付近	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩道: 狭い</li> <li>・隣接: 住居・オフィス、緑地混在</li> <li>・根元: 植樹帯・柵にはみ出しあり</li> <li>・高木: 中~高</li> </ul>	
	②-2: 団地(戸建)付近	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩道: なし</li> <li>・隣接: 住居</li> <li>・根元: 植樹帯・柵に余裕なし</li> <li>・高木: 低~中程度</li> </ul>	